

対話でつなぐ授業 ～自己肯定感を求めて～

岩瀬 竜弥



指導員訪問⑥ 1年 特別の教科 道徳

「ジャングルジム」 高橋 優子 教諭



「いじめ」を許さない心と力を育て、よりよい集団やいじめのない風土を醸成したい・・・特別な教科「道徳」が生まれました。そして、1年「ジャングルジム」(公正、公平、社会正義)は、考え、議論する道徳として多くの方に実践されています。「くまくん」「ねこちゃん」「さるくん」の役割演技を通して、多面的・多角的にとらえ、問題解決によって、**仲よくすることのよさや大切さに気付く**姿があったかどうかです。

高橋教諭は、小学生の時から毎日が楽しく、学校大好き。小3の担任との出会いによって、さらに楽しく幸せに。そんな先生に憧れを抱いていました。その後にも出会う、仕事を楽しむ教師の姿に、「小学校教師しかない!」と。笑顔あふれる高橋学級につながっています。

さて、本時では、「ねこちゃんは、違うところで遊んでよ」と、くまくんに言われ、泣いて帰ったねこが、第6場面で3匹が仲良

くなった姿を提示。第5場面(右図)でどんな会話があったからなのか、3人組で役を変えて役割演技をしました。

協議会では、このあとのクラス対話が、「ア 他者理解をふまえた話し合いに」10人、「イ 建前の発表に終始」2人、「ウ 効果は見られたが改善点あり」15人となりました。指導員から、①意見が偏ったら、ゆさぶりをかけて、②問い返し「どうだった?」、「自分だったらどう?」の大切さ、③役割演技による即興性のよさ(C②6)、問い返し(T10)による心の引き出し、が問題解決に有効であることを教えていただきました。

私は、C12、14の「優しい」が気になりました。さらに、C14の「本当は」、くまくんに怒りを感じていた子が、C15「よかった」の言葉です。きっと、演技や仲間の発言から、「**仲よくするよさ**」に迫ったからでしょうね。



<役割演技 代表3つめ(左下写真)>

①くま、②ねこ、③さる(教師で)

C①1: ごめんね

C②2: いいよ。

C①3: これからもずっとずっと一緒に遊ぼうね。

C②4: うん、いいよ。

T③5: ねこちゃん、本当にいいの? また、くまくんにひどいこと言われるかもしれないよ。

C②6: 大丈夫だよ、もう、お友達になったから。

T③7: そうなんだ、くまくんよかったね。

●T8: 見てた人どう思った?

C9: C②が優しかった。

●T10: ねこちゃんのどんな言葉がやさしかった?

C11: いいよって言ったから。

C12: くまくんは、ねこちゃんが謝って、**優しい**なあって思った。

C13: ああー。(多数)

C14: **本当は**、くまくんは**優しい**なって思った。

C15: くまくんは、**みんな友達になつてよかった**。【授業記録より一部抜粋】

